



2013年度 評価

① WWFジャパン チェックリスト評価

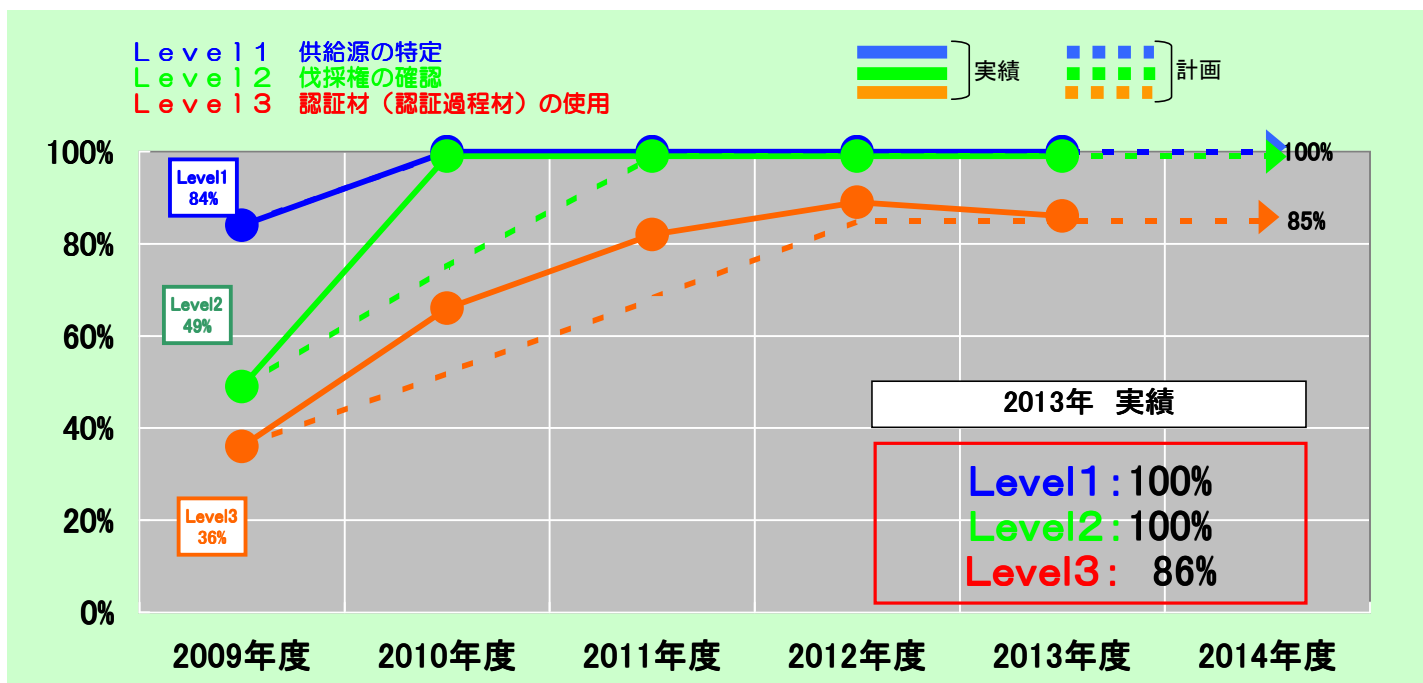
確認手段としてWWFジャパンのチェックリストを使用しています。

➡ WWFジャパンチェックリストへのリンク

自己評価 ※調査対象は、ミサワホームの木材調達指針と同じく、木質系工業化住宅の構造体のみです。
 ※年間木材使用量：239,458m³/年、年間使用原木量：478,917m³/年
 木材仕入先企業の森林認証材使用の啓蒙が定着したことにより、2013年度の目標は達成しましたが、一部国産材の認証材使用率が減少したことにより、2012年度より3ポイント減少しました。2014年度は、策定目標の最終年度になるので、更に取り先と連携を取りながら推進し、次期目標策定の着手に取り組みます。

	樹種	国名	使用比率 (%)	チェックリスト評価	
				(樹種別) 得点	個別評価
合板	ダグラスファー	カナダ	16.67	67.3	B
	ラーチ	ロシア	12.47	64.6	B
	メランティ	マレーシア	0.95	65.4	B
		インドネシア	0.70	100	S
	mixed (カーポール・クルウイン)	インドネシア	1.06	100	S
	カラマツ	日本	0.28	64.9	B
計			32.13		
芯材・構造用集成材	ホワイトウッド	フィンランド	40.47	71.6	B
		ドイツ	4.78	71.0	B
		スウェーデン	2.01	62.7	B
	トドマツ	日本	5.69	59.2	C
	SPF	カナダ	1.07	93.6	A
	バイヒバ	カナダ	0.10	61.8	B
計			54.12		
LVL	ポプラ	中国	4.34	62.8	B
	カラマツ	ロシア	2.20	31.2	D
	計		6.54		
その他工場調達材	トドマツ	日本	4.28	54.6	C
	ホワイトウッド	フィンランド	2.08	62.8	B
		スウェーデン	0.67	60.2	B
		ドイツ	0.06	71.0	B
	バイヒバ	カナダ	0.12	61.8	B
計			7.21		
総合計			100	67.5	B

② 3段階のレベルの達成状況



③ WWFジャパンのコメント

ミサワホームの2013年度の木材調達は、昨年度に引き続き2年連続でLevel3目標を上回る実績となりました。これまでの4年間の取組を通じて、森林資源の環境・社会配慮について自ら確認するプロセスが社内や取引先に定着し、かつ安定してきたものと評価できます。中期目標の最終年度である2014年度では、目標を達成し続けることももちろん大切ですが、評価の数値だけにとらわれず、今年度の評価が相対的に低かった資材での確認を再度強化するなどの着実な取組を期待します。また、大量の木材を利用する企業の責任として取り組んできた活動の意義をより多くのステークホルダーに伝え、社会で同様の取組が行われることを目指すことも可能ではないでしょうか。来年度もミサワホームらしい活動に期待しています。